

令和 7 年度

岡山県立博物館協議会

第 1 回 開催要項

1 開会

2 展示室視察

3 議題

(1) 令和 7 年度事業について

ア 展覧会

イ 教育普及事業

ウ 入館状況

(2) 令和 8 年度展覧会計画（案）について

(3) 長期展覧会計画（案）について

(4) 第 3 次岡山県立博物館中期目標の達成状況について （令和 6 年度）

(5) その他

・ 来館者アンケート結果について

4 閉会

日 時：令和 7 年 10 月 2 日（木） 13：30 ～

会 場：岡山県立博物館 講堂

(1) 令和7年度事業について

ア 展覧会

令和7年7月24日現在

☆テーマ展

	1階展示室 (考古・通史・民俗)	2階展示室 (テーマ展・刀剣・備前焼・工芸)
3/20～5/6 春季展(1) 48(42)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史 旅と行楽	☆注文打ち～武将のために作られた刀～ 宇喜多秀家と小早川秀秋 屏風
5/11～6/29 初夏展 50(43)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史 船と祈り(絵馬) 暮らしと装い	☆学び、つながる江戸時代の人びと 刀剣 備前焼
7/3～8/24 夏季展 52(45)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史 船と祈り(盆行事・絵馬) 暮らしと装い	☆やきものの見方 備前焼から 戦後80周年企画 戦時下の暮らし 江戸の博物学、どうぶつ大集合 赤羽刀
8/28～10/5 秋季展(1) 38(33)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史 昔の暮らしと道具の移り変わり 民俗芸能と仮面 宇甘でうまれた刀 雲類	☆吉備津神社 赤羽刀 備前焼
10/10～11/23 特別展①・秋季展(2) 45(39)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史 昔の暮らしと道具の移り変わり 民俗芸能と仮面 宇甘でうまれた刀 雲類	特別展 花ござ 心おどるい草の世界
11/28～1/12 特別展②・冬季展(1) 47(39)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史 冬の暮らし(昔の暮らし)	特別展 岡山の文化と出会う —宗教美術から超絶技巧まで—
1/17～3/8 特別展②・冬季展(2) 50(43)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史 雛飾り	特別展 岡山の文化と出会う —宗教美術から超絶技巧まで—
3/13～ 春季展 19～(16～)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史 旅と行楽	☆弘法寺 跣供養面 刀剣 備前焼

〈展覧会内容〉

事業名	テーマ展「注文打ち～武将のために作られた刀～」
期 間	令和7年3月20日(木)～5月6日(火)
趣 旨	室町時代後期、日本の各地で戦乱が起こるようになると、「^{かざうちもの}数打物」と呼ばれる量産品の日本刀が出回るようになった。一方、注文を受けた刀鍛冶が念入りに鍛えた作は「^{ちゅうもんうち}注文打」として区別され、茎に注文主の名前を刻んでいることがその特徴となっている。 戦国期の岡山でも、清光や祐定など当時活躍していた長船派の刀鍛冶を中心に、武将やその家臣のための「注文打」、いわゆるオーダーメイドによる日本刀の作成が行われていた。 本展では、備前長船鍛冶による注文打の作品を中心に展示し、刀鍛冶と武将達との関係を紹介する。
主要展示資料	刀 銘 備前国長船孫右衛門尉清光為日笠次郎兵衛尉頼房作之/永禄十年八月吉日 岡山県立博物館蔵 短刀 銘 備前国住長船彦左衛門尉祐定為日笠左京助頼家作之/元亀四年八月吉日 個人蔵
関連行事等	学芸員による展示解説 3/22(土)、3/29(土)、4/12(土)、4/19(土)、5/3(土・祝)
備 考	入館料 一般250円、65歳以上120円、高校生以下無料(～3/30) 入館料 一般260円、65歳以上130円、高校生以下無料(4/1～) 会場 第4展示室
成果・課題	従来の所蔵品に新規寄託の依頼を受けた刀剣類が加わったことで、県内の武将ゆかりの刀剣を幅広く紹介することができた。しかし、一室全体が刀剣のみの展示となった結果、室内の明度が下がってしまったため、今後は全体的な見やすさも意識した展示を行っていきたい。

事業名	テーマ展「学び、つながる江戸時代の人びと」
期 間	令和7年5月11日(日)～6月29日(日)
趣 旨	江戸時代の岡山では、全国に先駆けて寛文10(1670)年に設立された閑谷学校をはじめ、数多くの学びの場ができ、多くの人がそこで学ぶようになった。そうした人たちのなかからは、各地に出かけてその地の人とつながって学びを深め、活躍する人も登場した。 本展では、江戸時代に各地の人とつながりを持ちつつ学びを深めた古川古松軒や武元登々庵など、岡山ゆかりの人物を中心に上げ、彼らの手紙や著作などからその学びや交流の広がりを紹介する。
主要展示資料	宇田川玄随書状 岡山県立博物館蔵 絹本著色古川古松軒像 岡山県立博物館蔵 窪田浅五郎算術免状 岡山県立博物館蔵
関連行事等	学芸員による展示解説 5/17(土)、5/31(土)、6/14(土)、6/28(土)
備 考	入館料 一般260円、65歳以上130円、高校生以下無料 会場 第4展示室
成果・課題	宇田川玄随、窪田浅五郎、阪谷朗廬、武元登々庵、古川古松軒の5人に関する古文書を中心に上げて紹介した。これまで紹介していない資料も展示することができた。 古文書を読んでもらえるような補助キャプションを作成するなど工夫を加えたものの、依然として古文書を読むのが難しいとの声もあった。今後、さらに工夫したい。

事業名	テーマ展「やきものの見方 備前焼から」
期 間	令和7年7月3日(木)～8月24日(日)
趣 旨	やきものを展示していると、「どこを見たらよいかわからない」という声をよく聞く。そのため、岡山県を代表するやきものである備前焼を取り上げ、やきものの作られた時代を知るとき、どこに注目したらよいかを伝える展示を企画した。 本展では、岡山県を代表するやきものである備前焼を通して、研究者がやきものの製作時期を調べるとき、注目しているポイントを紹介する。
主要展示資料	備前焼 手榴弾 12口 昭和20年(1945) 山本陶秀作 岡山県立博物館蔵 備前焼 甕 1口 元亀2年(1571) 岡山県立博物館蔵 備前焼 東下り置物 1口 江戸時代 岡山県立博物館蔵
関連行事等	学芸員による展示解説 7/5(土)、7/19(土)、8/2(土)、8/23(土) 「ふれて知る、やきものの注目ポイント」 8/24(日)
備 考	入館料 一般260円、65歳以上130円、高校生以下無料 会場 第3展示室
成果・課題	夏休み期間であるため、子どもをはじめとする幅広い年齢層に親しみやすい展示となるように、作品に触ってもらえるコーナーを設けた。また、写真パネルを多数掲出し、形の変遷などをわかりやすく伝えるよう試みたが、今後もさらに多くの方に興味を持ってもらえるよう工夫したい。

事業名	テーマ展「吉備津神社」
期 間	令和7年8月28日(木)～10月5日(日)
趣 旨	備中国一宮である吉備津神社の本殿は、比翼入母屋造の独特な屋根を持ち、「吉備津造」とも呼ばれる美しい外観で知られる。この本殿は、本殿から突き出すようにして建つ拝殿とともに応永32(1425)年に再建されたもので、度重なる修復を経て現在まで大切に護り継がれ、令和7(2025)年には再建から600年の節目を迎える。 本展では、本殿および拝殿の再建600年を記念して、吉備津神社の歴史を示す貴重な古文書や奉納された文化財を紹介する。
主要展示資料	国宝(附) 明和六年 本殿棟札 吉備津神社蔵 国宝(附) 弘化三年 本殿棟札 吉備津神社蔵 県重要文化財 吉備津宮法楽一万句連歌発句 吉備津神社蔵 県重要文化財 大太刀 銘 備州長船秀幸 吉備津神社蔵
関連行事等	学芸員による展示解説 8/30(土)、9/6(土)、9/13(土)、9/20(土)、9/27(土)、10/4(土)
備 考	入館料 一般260円、65歳以上130円、高校生以下無料 会場 第4展示室
成果・課題	吉備津神社本殿・拝殿の再建600年という時宜にかなった展示として企画した。今回の展示では、平成19(2007)年度に吉備津神社を取り上げた特別展を開催した際に取り上げていない資料を紹介できた。展示順路のわかりにくい箇所があり、順路がわかりやすいように展示を構成することが今後の課題である。

事業名	特別展「花ござ 心おどる い草の世界」
期 間	令和7年10月10日(金)～11月23日(日)
趣 旨	花ござとは、い草を鮮やかに染めて模様を彩った敷物である。岡山県南部では、江戸時代中頃より干拓地の土壌にい草を植え、近江商人によって豊表の名産地として全国に名を馳せた。明治時代になると、倉敷市茶屋町出身の磯崎眠亀による「錦莞菴」やい草の画期的な染色法等の発明により、岡山県で花ござの生産と海外輸出が始まり、外国の需要に応じた多種多様なデザインと技術が発達した。大正時代以降は国内向けの販路が拡大し、昭和前期には民藝運動家と倉敷の花ござ生産者による「民藝花むしろ」作りも行われた。 本展では、岡山県の心おどる魅力的な花ござの数々をご覧いただくとともに、その背景にある生産者の技術や、かつて岡山県で活況を呈したい草産業の歴史を紹介する。
主要展示資料	錦莞菴 黒花菱輪郭内部蝶模様 一畳敷 明治29年(1896) 岡山県立博物館蔵 捺染花菴 美人画 明治時代末期 早島町教育委員会蔵 芹沢銈介花むしろ図案 昭和時代 個人蔵
関連行事等	(1)講演行事 ①記念講演会 11/1(土) ②フォーラム 11/16(日) (2)ワークショップ ①ミニ織機でい草を織ろう 10/12(日)、11/8(土) ②花ござ捺染体験 10/25(土) ③畳縁で小物を作ろう 11/2(日) (3)展示解説と講師による織機の実演 10/19(日)、11/9(日)、11/22(土)
備 考	入館料 大人460円、65歳以上230円、高校生以下無料 会場 第3・4展示室入

事業名	特別展「岡山の文化と出会う―宗教美術から超絶技巧まで―」																																		
期 間	I 期:令和7年11月28日(金)～令和8年1月12日(月・祝) II 期:令和8年1月17日(土)～3月8日(日)																																		
趣 旨	岡山県立博物館は、昭和46年(1971)の開館以来、岡山の歴史と文化を伝える施設として、県内ゆかりの文化財を幅広く収集・借用し、大切に保管・展示をしてきた。 この度、開館55年目を迎えたのを期して、美術工芸分野を代表する文化財を一堂に公開する展覧会を開催する。本展が、県内ゆかりの文化財を多くの方々に知っていただき、改めて「岡山の文化と出会う」機会となれば幸いである。 美術分野では、仏画・仏像・神像などの宗教美術、そして四条派や文人画を中心に近世絵画を展観する。工芸分野では、備前・備中の誇る名刀や、岡山ゆかりの甲冑、近代に活躍した金工師である正阿弥勝義などの作品を紹介する。																																		
主要展示資料	<table border="0"> <tr> <td>岡山県指定重要文化財 阿弥陀如来坐像</td><td>1軀</td><td>鎌倉・嘉暦4年(1329)</td><td>岡山県立博物館蔵</td></tr> <tr> <td>重要文化財 両界曼荼羅図</td><td>2幅</td><td>鎌倉時代</td><td>寶光寺蔵</td></tr> <tr> <td>重要文化財 太刀 銘 則宗</td><td>1口</td><td>鎌倉時代初期</td><td>岡山県立博物館蔵</td></tr> <tr> <td>重要文化財 色々威甲冑</td><td>1領</td><td>室町時代</td><td>豊原北島神社蔵</td></tr> <tr> <td>重要文化財 木造獅子</td><td>一対</td><td>平安時代</td><td>高野神社蔵</td></tr> <tr> <td>重要文化財 木造獅子狛犬(特別出品)</td><td>一対</td><td>鎌倉～南北朝時代</td><td>吉備津神社蔵</td></tr> <tr> <td>虎に叭々鳥図 黒田綾山筆</td><td>8面</td><td>江戸・寛政8(1796)</td><td>岡山県立博物館蔵</td></tr> <tr> <td>鶏香炉 正阿弥勝義</td><td>1合</td><td>明治時代</td><td>岡山県立博物館蔵</td></tr> </table>			岡山県指定重要文化財 阿弥陀如来坐像	1軀	鎌倉・嘉暦4年(1329)	岡山県立博物館蔵	重要文化財 両界曼荼羅図	2幅	鎌倉時代	寶光寺蔵	重要文化財 太刀 銘 則宗	1口	鎌倉時代初期	岡山県立博物館蔵	重要文化財 色々威甲冑	1領	室町時代	豊原北島神社蔵	重要文化財 木造獅子	一対	平安時代	高野神社蔵	重要文化財 木造獅子狛犬(特別出品)	一対	鎌倉～南北朝時代	吉備津神社蔵	虎に叭々鳥図 黒田綾山筆	8面	江戸・寛政8(1796)	岡山県立博物館蔵	鶏香炉 正阿弥勝義	1合	明治時代	岡山県立博物館蔵
岡山県指定重要文化財 阿弥陀如来坐像	1軀	鎌倉・嘉暦4年(1329)	岡山県立博物館蔵																																
重要文化財 両界曼荼羅図	2幅	鎌倉時代	寶光寺蔵																																
重要文化財 太刀 銘 則宗	1口	鎌倉時代初期	岡山県立博物館蔵																																
重要文化財 色々威甲冑	1領	室町時代	豊原北島神社蔵																																
重要文化財 木造獅子	一対	平安時代	高野神社蔵																																
重要文化財 木造獅子狛犬(特別出品)	一対	鎌倉～南北朝時代	吉備津神社蔵																																
虎に叭々鳥図 黒田綾山筆	8面	江戸・寛政8(1796)	岡山県立博物館蔵																																
鶏香炉 正阿弥勝義	1合	明治時代	岡山県立博物館蔵																																
関連行事等	(1) 記念講演会 12/14(日)、1/17(土) (2) 学芸員による展示解説 (3) アンケート企画―みんなでつくろう、県立博物館の優品グッズ― (4) 館蔵品クイズ! (5) 真鍮アクセサリ―作り 2/15(日) (6) 2D仏像顔出し看板作り体験・等身大お釈迦様すごろく体験 12/21(日) (7) 曼荼羅パズル I 期会期中 (8) 撮影スポット																																		
備 考	入館料 大人460円、65歳以上230円、高校生以下無料 会場 第3・4展示室																																		

事業名	テーマ展「弘法寺 跣供養面」
期 間	令和8年3月13日(金)～
趣 旨	平安時代に、比叡山の横川で恵心僧都源信が始めたといわれる迎講は、死後に阿弥陀仏のいる極楽浄土へ往生することを願う人々の心を引きつけ、やがて全国に広がった。迎講は、瀬戸内市牛窓町に所在する弘法寺では跣供養と呼ばれ、現在も毎年5月5日に行われている。面をつけて観音菩薩たちに扮した人々は、中将姫を金蓮華に乗せて阿弥陀仏の元へと運ぶ。 本展では、弘法寺に伝わる跣供養面を中心に展示し、当寺で受け継がれてきた跣供養について紹介する。
主要展示資料	跣供養面(観音6 地藏3 童子2) 東寿院蔵 阿弥陀二十五菩薩来迎図 遍明院蔵 阿弥陀三尊来迎図 遍明院蔵 千手山弘法寺跣供養之図式版摺 岡山県立博物館蔵
関連行事等	学芸員による展示解説
備 考	入館料 一般260円、65歳以上130円、高校生以下無料 会場 第4展示室

イ 教育普及事業

事業名	ジュニア学芸員講座
期 間	令和7年8月6日(水)～8月8日(金)
概要等	県内の中高校生が、実物の文化財の取り扱いや調査など学芸員の基本的な仕事を体験することで、岡山の歴史と文化に関する理解を深めるとともに、将来を考える機会を提供する。 <内容> 3日間の講義・実務・研修を行い、修了時に館発行の認定証を授与する。 1日目 開講式、施設見学、文化財の取扱い(考古資料・陶磁器)、写真の撮影体験 2日目 文化財の取扱い体験(日本刀、民俗資料) 3日目 文化財の取扱い体験(古文書)、閉講式
参加者数	中学生 6名 高校生 10名 計 16名

事業名	館内授業・出前授業
期 間	通年(令和7年4月～令和8年3月)
概要等	県内の小中高校生等が、博物館で実物の文化財に触れたり展示を見学したりして学習する。また、学芸員が学校に出向いたり、古墳等の史跡見学に同行したりして授業を行う。 <授業テーマ例(学校からの要望に応じて対応)> 歴史 吉備の古墳の世界 民俗 体験! 昔の暮らし 美術 備前焼を知ろう
実施校数	館内授業 11校(小5、中3、高1、特1、大1) 自由見学 2校 ※9月30日現在

事業名	博物館講座
期 間	令和7年6月8日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日)
概要等	第一線で活躍する研究者と当館学芸員による連続講座を実施。(生涯学習大学連携講座) 4日間4講座(1講座90分)、定員120名 第1回 「民俗学へのご招待ーそこからどんな世界がみえる？」 講師:今石みぎわ氏(東京文化財研究所 無形文化遺産部主任研究員) 第2回 「学びと交流ー江戸時代岡山の人びとー」 講師:平田良行(学芸員) 第3回 「岡山の彫刻について」 講師:山本宏美(学芸員) 第4回 「岡山県内の歴史的建造物について」 講師:内池英樹(副館長)
受講者数	92名

事業名	中学校職場体験
期 間	令和7年11月
概要等	中学2年生を対象にした職場体験の受け入れ ＜内容＞ 学芸業務や受付・看視等の仕事を体験
実 績	受入校 6 校 参加生徒 現在調整中 ※9月30日現在

事業名	博物館実習
期 間	令和7年8月20日(水)～24日(日) *博物館見学実習は通年(令和7年4月～令和8年3月)
概要等	博物館法に規定する学芸員資格の習得を希望する大学生を対象に、博物館において実習の機会を提供し、人材育成に資するとともに博物館活動の普及を図る。 ＜内容＞ ①講義実習(3日間) 各分野の文化財の取り扱いを通してその特性を学ぶ ②支援実習(2日間) 博物館の行事を体験して実務を学ぶ ③博物館見学実習(1日) 博物館施設の見学
実 績	参加者 博物館実習 18 名 博物館見学実習 3 校

事業名	教員のための博物館の日 in 岡山県立博物館 2025
期 間	令和7年8月2日(金)
概要等	県内の教員を対象に、授業に利用できる資料の紹介や、展示室の案内、さらには博物館を利用した授業づくりについて紹介することにより、学校教育における社会教育施設の活用促進を図る。 ＜内容＞ ・館内を巡り、授業に利用可能な資料を紹介 ・博物館を利用した授業の事例を紹介 ・授業づくりの相談 など
実 績	参加者 15名

ウ 入館状況

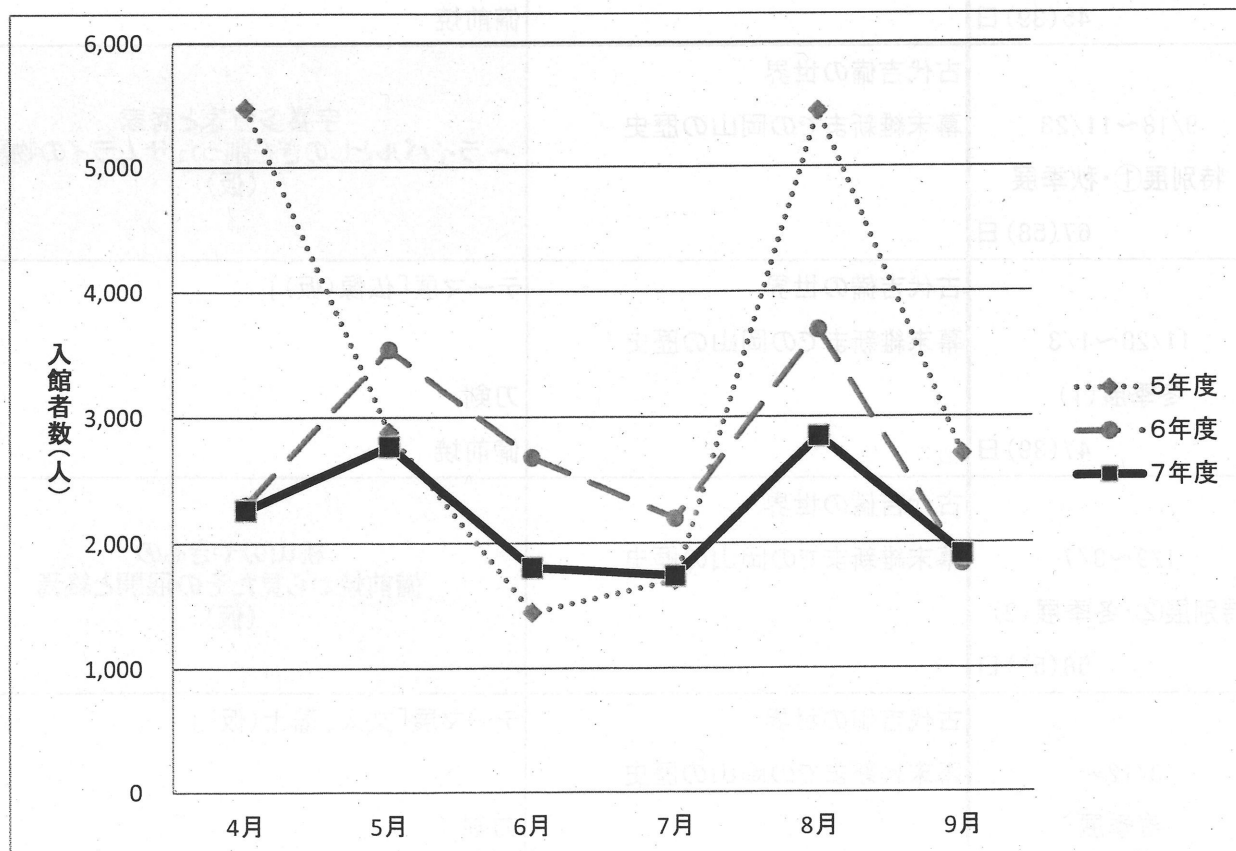
月別入館者数

令和7年9月21日現在

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	年計
5年度	特別展	-	-	-	553	5,449	1,441	7,443	11,911
	特別展以外	5,478	2,883	1,447	1,149	-	1,264	12,221	23,480
	計	5,478 (213)	2,883 (132)	1,447 (96)	1,702 (139)	5,449 (110)	2,705 (85)	19,664 (775)	35,391 (1,545)
6年度	特別展	-	-	-	-	-	-	-	18,734
	特別展以外	2,306	3,541	2,681	2,197	3,696	1,833	16,254	23,672
	計	2,306 (198)	3,541 (251)	2,681 (172)	2,197 (208)	3,696 (335)	1,833 (190)	16,254 (1,354)	42,406 (2,558)
7年度	特別展	-	-	-	-	-	-	-	-
	特別展以外	2,268	2,771	1,807	1,741	2,848	3,133	14,568	14,568
	計	2,268 (283)	2,771 (260)	1,807 (244)	1,741 (357)	2,848 (259)	3,133 (251)	14,568 (1,654)	14,568 (1,654)

※()は内外国人数



(2) 令和8年度展覧会計画(案)について

令和7年9月20日現在

	1階展示室 (考古・通史・民俗)	2階展示室 (テーマ展・刀剣・備前焼・工芸)
3/13～4/19 春季展 38(33)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史	テーマ展「弘法寺 跣供養面」 刀剣 備前焼
4/24～6/7 初夏展 45(39)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史	テーマ展「奉納刀(仮)」 刀剣 備前焼
6/12～7/26 夏季展(1) 45(39)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史	テーマ展「経典(仮)」 刀剣 備前焼
7/31～9/13 夏季展(2) 45(39)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史	テーマ展「和船(仮)」 刀剣 備前焼
9/18～11/23 特別展①・秋季展 67(58)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史	宇喜多直家と秀家 ～ライバルとしてのぎを削ったサムライの物語～ (仮)
11/28～1/3 冬季展(1) 47(39)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史	テーマ展「仏像(仮)」 刀剣 備前焼
1/9～3/7 特別展②・冬季展(2) 58(51)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史	桃山のやきもの 備前焼から見たその展開と終焉 (仮)
3/12～ 春季展 20～(17～)日	古代吉備の世界 幕末維新までの岡山の歴史	テーマ展「文人、藩士(仮)」 刀剣 備前焼

〈特別展内容〉

事業名	特別展『宇喜多直家と秀家～ライバルとしてのぎを削ったサムライの物語～』(仮)		
期間	令和8年9月18日(金)～11月23日(月・祝)		
趣旨	宇喜多直家は浦上氏の家臣だったが、1575年に仕えていた浦上宗景を領国から追い出し、備前・美作のほとんどを手中に収めた。直家は拠点を岡山城へ移し、戦国時代を代表する武将として名を馳せた。直家の跡を継いだ宇喜多秀家は、羽柴(豊臣)秀吉の支持を得ることで勢力を拡大し、秀吉の天下統一後は、五大老の1人として、豊臣政権のもとで重要な役割を果たした。 近年、岡山県内はもちろん、県外においても宇喜多氏に関する資料の発見が続いている。 このたびの展覧会では、これまで知られていた代表的なものに加え、こうした新出資料を一堂に厚め、岡山を代表する戦国武将、宇喜多直家と秀家の一生をご紹介します。		
主要展示資料	・重要文化財 絹本著色宇喜多能家像 大永4(1524)年 ・宇喜多直家書状 天正8(1580)年 ・岡山県指定重要文化財 宇喜多秀家黒印状 文禄3(1594)年 ・短刀 銘 来国次(名物 鳥飼来国次) 鎌倉時代 ・石川県指定文化財 色々威二枚胴具足(本多政重所用) 戦国時代	岡山県立博物館蔵 個人蔵 和気町安養寺蔵 黒川古文化研究所蔵 加賀本多博物館蔵	
関連行事等	(1)記念講演会 (2)学芸員による展示解説 (3)甲冑着付け体験		
備考	入館料 大人460円、65歳以上230円、高校生以下無料 会場 第3・4展示室		

事業名	特別展『桃山のやきもの 備前焼から見たその展開と終焉』(仮)		
期間	令和9年1月9日(土)～ 令和9年3月7日(日)		
趣旨	備前焼は岡山県を代表するやきものである。基本的には釉薬を使わず、800年以上にもわたり生産が続いてきた。釉薬の使用が一般化した今では、このようなやきものはとても珍しく、国内だけではなく、海外からも高い関心を集める。芸術家の北大路魯山人は備前焼を、「無釉陶のなかでも、群を抜いて美しい」「土そのものが世界に類なきもの」とする。 桃山時代は、他の時期に類を見ない、躍動感あふれる形のやきものが作られた時代である。備前は美濃や唐津と並ぶ当時を代表する産地で、数々の優品を今に伝える。その優品が質・量に加えて多様さでも充実していたことから、桃山時代のやきものについて考えるとき、基準となる産地として、備前は注目を集めてきた。 このたびの展覧会では、備前焼の研究成果に基づきながら、各地で作られた桃山時代のやきものの変遷を紹介する。また、様々な地域のやきものと比較を行うことで、備前焼の特徴や魅力について改めて考える。		
主要展示資料	・岡山県指定重要文化財 備前花瓶 永禄12(1569)年 ・重要文化財 備前水指 銘 破家 16-17世紀 ・岡山県指定重要文化財 備前壺 慶長15(1610)年 ・重要文化財 信楽一重口水指 銘 柴庵 16-17世紀 ・重要文化財 鼠志野鶴鴿文鉢 16-17世紀	静岡寺光明院蔵 北陸大学蔵 岡山後楽園蔵 東京国立博物館蔵 東京国立博物館蔵	
関連行事等	(1)記念講演会 (2)学芸員による展示解説		
備考	入館料 一般460円、65歳以上230円、高校生以下無料 会場 第3・4展示室		

（3）長期展覧会計画(案)について

年 度		特 別 展	
7	2025	花ござ 心おどる い草の世界	岡山の文化と出会う —宗教美術から超絶技巧まで—
8	2026	宇喜多直家と秀家 ～ライバルとしのぎを削った サムライの物語～ (仮)	桃山のやきもの 備前焼から見たその展開と終焉 (仮)
9	2027	岡山の涅槃図(仮)	はたらく牛(仮)
10	2028	江戸時代の開発(仮)	正阿弥勝義(仮)

(4) 第3次岡山県立博物館中期目標の達成状況について

中期目標の達成状況評価(令和6年度)

- (1) 評価の時期 翌年度初めに実施
 (2) 評価者 館全体で評価
 (3) 評価区分 次の1～5段階で実施

評価区分	内 容
5	目標水準を大きく上回った。 140%以上
4	目標水準を上回った。 110%以上 140%未満
3	概ね目標水準である。 90%以上 110%未満
2	目標水準を下回った。 60%以上 90%未満
1	目標水準を大きく下回った。 60%未満

(4) 結果の公表

評価結果は、「岡山県立博物館協議会」において報告するとともに、ホームページで公表する。

<参考> 博物館法第9条

博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

令和6年度の評価

項 目	H27	H28	H29	H30	R元	R5	R6
1 資料の収集と保存・活用	3	3	3	3	2	3	3
2 調 査 ・ 研 究	3	3	3	3	3	3	3
3 展 示	4	3	3	3	3	2	2
4 教育普及・学校教育との連携	3	3	3	3	3	2	3
5 県民参加の協働運営	3	3	3	3	3	3	3
6 施設の管理・運営	3	3	3	3	3	3	3
7 組 織 ・ 人 員	3	3	3	3	2	4	2
総 合 評 価	3	3	3	3	3	3	3

■展示 R5:2 → R6:2

- ・令和6年度の入館者数は、42,406人で令和5年度より上回ったものの、目標の5万人を下回った。

■教育普及・学校教育との連携 R5:2 → R6:3

- ・博物館における教育普及事業のリーフレットを全学校に配付したことにより、出前授業の実施学校数が増加した。

■組織・人員 R5:4 → R6:2

- ・令和6年度は、展示替えなどの館内行事と研修会日程が重なり、参加回数が減少した。

評価結果を踏まえた今後の課題と施策への反映

展示の充実

- 1 時代のニーズを踏まえ、幅広い人に満足いただけるわかりやすい展示テーマの設定
- 2 学芸員による対象別講座の開催や、実物の文化財に触れる体験ができる企画等の実施

学芸員の質の向上

- 1 学芸員が研修会へ参加しやすくなるよう、サポート体制の強化
- 2 研修会の参加機会を増やすため、様々な機関が実施している研修会の情報収集

評価シート

目標項目		評価指標	中期目標値 (令和9年度)	令和6年度 実施結果	評価
資料収集と 保存・活用	資料の購入	資料の購入件数	必要に応じ 予算措置	1件／年	－
	寄附資料の受け入れ	新規寄附資料の受け 入れ件数	随時申し出に に対応	件／年	－
	寄託資料の受け入れ	新規寄託資料の受け 入れ件数	随時申し出に に対応	2件／年	－
	資料の適切な保管	収蔵庫等の定期点検 回数	12回／年	12回／年	3
	展示室の資料保存環 境の点検	展示室等の定期点検 回数	50回／年	50回／年	3
	収蔵スペース確保の 検討	収蔵スペース確保の 検討	随時	随時	3
		整理・整頓	4回／年	4回／年	
	所蔵資料の補修	所蔵資料の修復 点数	1点／年	0点／年	1
資料の活用	収蔵資料展示点数	2,000点／年	1,361点／年	2	
	特別観覧利用件数	100件／年	93件／年	3	
平均評価					3
調査研究	調査研究活動の 強化	各学芸員の調査テ－ マの設定	6件／年 (各学芸員1テ－マ)	6件／年 (各学芸員1テ－マ)	3
	調査研究成果の 公表	研究報告の発刊	1回／年	1回／年	3
		年報の発刊	1回／年	1回／年	3
		博物館だよりの 発刊	1回／年	1回／年	3
		博物館講座の開催	6回／年	4回／年	2
	外部研究機関との 連携	共同研究テ－マ数	2件／年	2件／年	3
	地域における資料保 存への支援	支援件数	2件／年	4件／年	5
平均評価					3

目標項目		評価指標	中期目標値 (令和 9 年度)	令和 6 年度 実施結果	評価
展 示	特別展	実施回数	2 回／年	2 回／年	3
	テーマ展	実施回数	随時	随時	－
	平常展	常設展示	通年	通年	－
	各展共通項目	総入館者数	50,000人／年	42,406人／年	2
		入館者の満足度	90%以上	86.2%	3
		記念講演会	1 回以上／1 展覧会	1 回以上／1 展覧会	3
		実演等	1 回以上／1 展覧会	1 回以上／1 展覧会	3
		展示解説	4 回以上／1 展覧会	3 回以上／1 展覧会	2
		キャプション 解説シート 多言語表記 (名称・解説等)	改善 30枚 英語・中国語・韓 国語表記	10枚 スマホ等の翻訳ア プリで対応	1
平均評価					2
教育普及活動 ・ 学校教育との 連携	博物館講座	開設講座数	4講座(1班)／年	4講座(1班)／年	3
		参加受講者数	100人／年	92人／年	3
	体験学習	参加体験型資料の充 実	令和 9 年度末 40点	令和 6 年度末 41点	3
	館内授業	実施学校数	50校／年	34校／年	2
		受講児童生徒数	2,500人／年	1,101人／年	1
	出前講座	実施学校数	15校／年	21校／年	5
		受講児童生徒数	1,000人／年	1,358人／年	4
	展示解説	聴講者数	20人／1解説日	90人／1解説日	5
	博物館実習	受入学生数	20人／年	14人／年	2
	中学生職場体験	受入学生数	10校／年	6校／年	2
教職員研修	連携事業の実施回数	2回／年	2回／年	3	
ジュニア学芸員講座	受入生徒数	20人／年	19人／年	3	
オンライン講座	コンテンツ数	5コンテンツ／年	0 コンテンツ／年	1	

目標項目		評価指標	中期目標値 (令和9年度)	令和6年度 実施結果	評価
教育普及活動 学校教育との 連携	大学教育との連携	受講する学生数	100人／年	199人／年	5
	外部への講師派遣	派遣回数	15回／年	21回／年	5
平均評価					3
県民参加の 協働運営	広報活動の充実	記者クラブへの 資料提供件数	30件／年	21件／年	2
		マスコミ取材件数 (新聞掲載件数)	250件／年	101件／年	1
	アンケートの実施	アンケートの回収率	10％／年	7.0％／年	2
	ホームページ等の充 実	H P アクセス数	200,000件／年	318,713件／年	5
		S N S の更新頻度	週2回以上	週4回	5
	岡山県立博物館友の 会の会員数の増加と 事業の充実	友の会会員数	400人／年	264人／年	2
		会員の継続率	前年会員の90％	前年会員の80％	2
		友の会事業実施回数	40回以上	61回	5
		特別展等観覧者率	4.0％	5.3％	4
		支援ボランティア	10回／年	16回／年	5
			30人以上／年	19人／年	2
	地域社会と協働の 展覧会の開催	共催団体数	1展覧会2団体 以上	1展覧会2団体	3
		連携博物館数	2博物館／年	2博物館／年	3
	博物館協議会等の意 見の反映	協議会開催回数	2回／年	2回／年	3
		外部評価の実施	1回／年	1回／年	—
	岡山カルチャーゾーン 連絡協議会との連携	連携（加盟）施設数 (県立博物館を除く)	11施設	11施設	3
平均評価					3

目標項目		評価指標	中期目標値 (令和9年度)	令和6年度 実施結果	評価
施設の整備 管理	安全な施設の維持 管理	個別施設計画	緊急性の高い事 案から着手	緊急性の高い事 案から着手	—
	外国人来館者への 配慮	案内板の多言語表記 の充実	中国語・韓国語 への対応	中国語・韓国語 への対応	—
	危機管理体制の強化	来館者事故数	0件／年	0件／年	3
		防災訓練の実施	年2回開催	年2回開催	3
		安全衛生会議の開催	年3回開催	年3回開催	3
	利用環境の向上	入館者の満足度	90%以上	82.3%	3
平均評価					3
組織・人員	学芸員の資質向上	研修会への参加人数	10件／年	8件／年	2
平均評価					2
総合評価					3

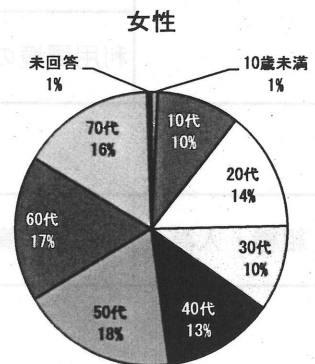
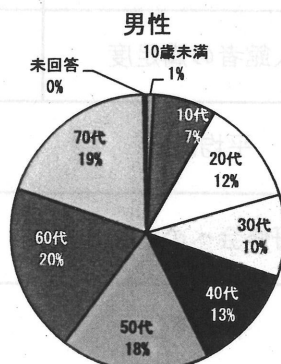
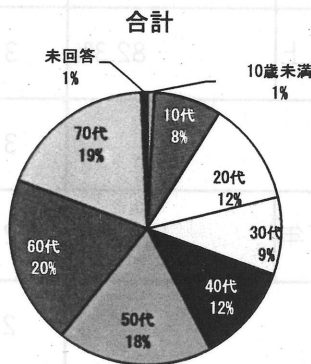
令和6年度 来館者アンケート集計結果

◆アンケート回収率

展覧会名	会期	入館者数	アンケート数	回収率
岡山の戦国時代ー赤松氏から宇喜多氏までー	4/1 ~ 4/7	624	56	9.0%
赤韋威鎧と備前の名刀	4/12 ~ 5/6	2,890	305	10.6%
清水宗治VS羽柴秀吉ー備中高松城の戦いー	5/10 ~ 6/16	4,080	240	5.9%
吉備から岡山へー最新の発掘調査成果からー	6/20 ~ 7/21	2,509	182	7.3%
絵解きー地獄の世界をのぞいてみようー	7/25 ~ 9/1	4,496	349	7.8%
岡山の至宝ー正宗文庫の輝きー	9/5 ~ 10/13	2,515	170	6.8%
【特別展】緒方洪庵ーその生涯と郷土岡山ー	10/18 ~ 11/24	4,720	371	7.9%
博物館で推し活！ー学芸員の推しを紹介しますー	11/29 ~ 1/26	5,472	343	6.3%
【特別展】茶碗 茶の湯にふれる	1/31 ~ 3/16	14,014	799	5.7%
注文打ちー武将のために作られた刀ー	3/20 ~ 3/31(5/6)	1,086	152	14.0%
合 計		42,406	2,967	7.0%

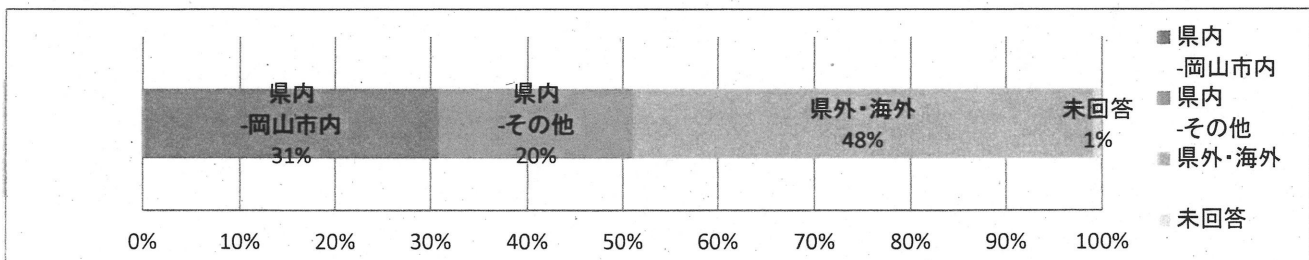
◆年齢構成

性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	未回答	性別合計
男性	12	101	167	131	170	242	270	265	5	1,363
女性	9	120	174	124	162	226	212	194	6	1,227
未回答	4	19	24	17	20	77	116	88	12	377
合計	25	240	365	272	352	545	598	547	23	2,967



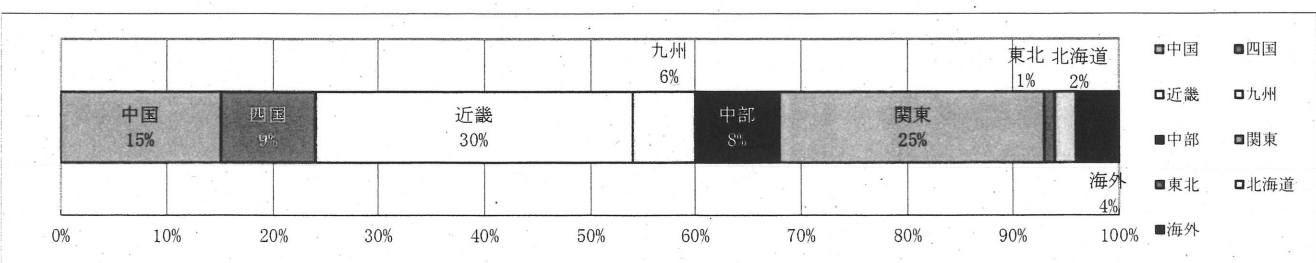
◆住所地一覧

住所地	県内 -岡山市内	県内 -その他	県外・海外	未回答	合 計
来館者数	915	599	1,425	28	2,967



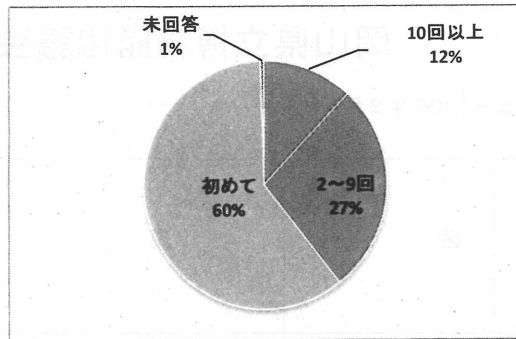
◆県外地方別一覧

地方	中国	四国	近畿	九州	中部	関東	東北	北海道	海外	合 計
来館者数	215	132	422	77	117	352	21	24	62	1,422



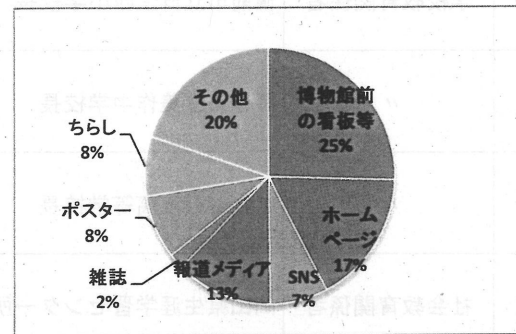
◆当館への来館回数

来館回数	回答数
10回以上	357
2～9回	811
初めて	1,783
未回答	16
合 計	2,967



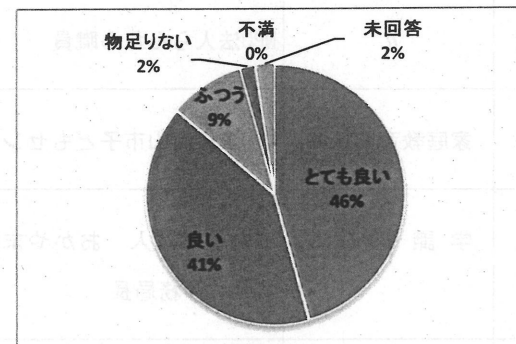
◆この展覧会を何で知ったか

広報媒体	回答数
博物館前の看板等	830
ホームページ	548
SNS	244
報道メディア	413
雑誌	63
ポスター	261
ちらし	245
その他	649
合 計	3,253



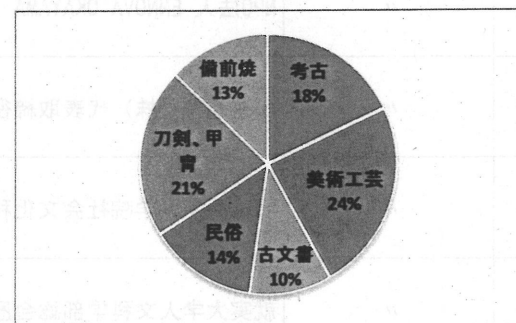
◆今回の展覧会についての感想

感想	回答数
とても良い	1,355
良い	1,202
ふつう	279
物足りない	54
不満	4
未回答	73
合 計	2,967



◆今後どのような展覧会を希望するか

希望分野	回答数
考古	723
美術工芸	956
古文書	418
民俗	549
刀剣、甲冑	845
備前焼	519
合 計	4,010



<博物館への意見>

- ・学芸員の方の展示解説が分かりやすく、楽しめました。
- ・古文書の訳が多くあり、よかったです。
- ・ミュージアムグッズを増やして欲しいです。
- ・子供向けにもう少し簡単な説明があると良いと思いました。
- ・もっとPRをしないともったいないと思います。

岡山県立博物館協議会委員

任期2年（令和7年2月5日～令和9年2月4日）

令和7年10月2日現在

番 号	氏 名	区 分	現 職	就 任 年 月	備 考
1	仲 原 美代子	学校教育関係者	備前市立日生西小学校長	R 7. 2	
2	忠 政 勇 之	"	美作市立美作中学校長	R 4. 5	
3	辻 田 詔 子	"	県立総社南高等学校長	R 5. 2	
4	栗 原 宏 之	社会教育関係者	岡山県生涯学習センター所長	R 5. 4	
5	明 楽 香 織	"	NPO法人らんとん職員	R 5. 2	
6	美 咲 美佐子	家庭教育関係者	NPO法人岡山市子どもセンター代表理事	H31. 2	
7	青 山 昌 史	学 識 経 験 者	公益社団法人 おかやま観光コンベンション 協会 事務局長	R 7. 2	
8	岡 野 英 美	"	NPO法人 ENNOVA OKAYAMA 正会員	H29. 2	
9	富 山 明 寿	"	小倉産業（株）代表取締役社長	R 7. 2	
10	大久保 範 子	"	岡山大学大学院社会文化科学研究科 准教授	R 7. 2	
11	三 田 智 子	"	就実大学人文科学部総合歴史学科 准教授	H31. 2	
12	伊勢崎 晃一郎	"	日本工芸会中国支部陶芸部会委員	H31. 2	
13	内 田 章 文	"	RSK山陽放送（株）取締役	R 3. 2	
14	岡 田 智 美	"	（株）山陽新聞社編集局文化部長	R 5. 2	
15	鳥 井 良 輔	"	岡山県議会議員	H27. 6	

岡山県立博物館協議会条例

〔昭和46年6月25日〕
岡山県条例第47号

(設置)

第1条 岡山県立博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、岡山県立博物館に岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(その他)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和46年7月1日から施行する。

2 (略)

岡山県立博物館協議会運営規則

〔昭和46年7月1日〕
岡山県教育委員会規則第13号

(趣旨)

第1条 この規則は、岡山県立博物館協議会条例（昭和46年岡山県条例第47号）第5条の規定に基づき、岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 協議会の会議（以下「会議」という。）に、議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、岡山県立博物館協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。

3 議長及び副議長の任期は、委員としての在任期間とする。

4 議長は、会議を主宰する。議長に事故のあるときは、副議長がその職務を代行する。

(招集)

第3条 会議は、岡山県立博物館長が招集する。

2 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付すべき案件をあらかじめ各委員に通知して行なう。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(定足数及び表決)

第4条 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(職員の説明及び資料の提出)

第5条 委員は、会議において関係職員に対して、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の出席)

第6条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は協議会が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。

職 員 一 覧

教育委員会事務局

職 名	氏 名	備 考
文 化 財 課 長	浜 原 浩 司	

岡山県立博物館職員

職 名	氏 名	備 考
館 長	細 川 誠	
副 館 長	内 池 英 樹	(学芸課長事務取扱)
総務課	課 長 坂 本 恵	
	副 参 事 國 定 優 次	
	主 任 上 岡 義 貴	
	主 事 株 屋 根 睦 生	
学芸課	学芸員(副参事)	重 根 弘 和
	学芸員(主任)	松 井 今 日 子
	学芸員(主任)	岡 崎 有 紀
	学 芸 員	平 田 良 行
	学 芸 員	馬 野 琴 巳
	学 芸 員	山 本 宏 美